

平成29年度 第1回

広島県後期高齢者医療広域連合運営審議会議事概要

平成29年11月14日（火）15:00～15:50

KKRホテル広島1階「孔雀」

【出席者】

委員(出席)：景山委員，片岡委員，川本委員，熊谷委員，河野委員，鈴木委員，
寺田委員，仲島委員，久光委員，檜谷委員，牧尾委員，村上委員

委員(欠席)：荒川委員，金子委員，清田委員

広域連合：藏田広域連合長，守田事務局長，谷川事務局次長兼総務課長，
亀田会計管理者兼会計課長，大下業務課長

【会議要旨】

1 開会

事務局から委員の過半数の出席があり，審議会が成立していることを報告

2 広域連合長挨拶

3 委員の紹介

事務局から各委員を紹介

4 事務局職員の紹介

5 運営審議会の概要の説明

6 議事

(1) 会長の選任について

片岡委員を会長に選任

(2) 副会長の選任について

檜谷委員を副会長に選任

(3) 会議の公開について

会議を公開することを決定

発言は、会長の許可を得てから発言することを申合せ

会議録は要点筆記とし、発言者名は記載しないこと

(4) 諮問事項について

○広域連合長から審議会会長に対し、諮問書の受け渡し

〔諮問事項〕

広島県後期高齢者医療広域連合における平成30年度及び平成31年度の保険料率の設定について

○諮問事項について事務局から説明

○質疑等

(委員) 保険料率は今後の見通しとして、どんどん上がっていくものなのか。

(事務局) 現時点では剰余金を使わない設定をしているが、次回の審議会ではそれらの活用が見込めるため、それらの数値を反映し、他にも今後変動する要因があるので、国からの情報を踏まえて試算を1月に提示する。

(委員) 収納率は高水準ではあるが、それでも未収が0.6%ある。取り組みなどを教えて欲しい。

(事務局) 各市町にて広報誌をはじめ、様々な手段で広報活動を行っている。
支払い能力がありながら保険料納付の意思が無い方については、預貯金不動産等の差し押さえを行って収納率の向上を目指している。

(委員) 広島県広域連合独自推計被保険者数の算出方法について教えて欲しい。
また、保健事業の金額が大きく伸びているが、その要因を教えて欲しい。

(事務局) 各市町に73, 74歳の人口を調査し、それを基に転入転出等の異動状況を踏まえ算出した。

保健事業では重症化予防などの事業を市町が実施するために、経費を計上したことから事業費が大きく伸びた。

(委員) 医療費の増加については医療提供側も考えていかなければならないと思う。新たに高価な薬も開発されるなど薬価も高いため、ジェネリックの普及なども考えなければならない。

(委員) 他にも再生医療などの非常に高価な医療が出てきているので、広島県全体で知恵を出しながら考えて行くことが大切である。

7 閉会